

十字架の道行、十字架での死は、主イエスの周りにいた人々に大きな衝撃を与えた。思いも寄らない出来事に弟子達は躊躇します。大きな喪失感に覆われます。

——「マグダラのマリアとヨセの母マリアとは、イエスの遺体を納めた場所を見つめていた」
(マルコ15:47)

何一つ語る言葉も思いつかず、ただ沈黙するしかありません。イエスと共にいることを通して得たもの全てが崩され、取り上げられ、目の前にあるのは暗い墓に納められたイエスの亡骸しかなかったのです。

聞く側も聞かれる側も本当は何一つ語る言葉がないのです。

津波で町全体が流された南三陸町

(ヨハネ20:21-22)

(倉敷聖クリストファー教会
管理牧師、福山諸聖徒教会
管理牧師)

主イエスの死と復活の予告、十字架の道行、十字架での死は、主イエスの周りにいた人々に大きな衝撃を与えた。思いも寄らない出来事に弟子達は躊躇します。大きな喪失感に覆われます。

東日本大震災発生後、四月四日には被災地に向かいました。復興活動が行われている場所や、人手が足りず瓦礫の山になったままでいる場所に行きました。見渡す限り、全てのものが崩されている場所もあります。言葉

がありません。

テレビのリポーターが「今の心境はどうですか?」と被災者に聞きます。「それを言わると一番困るんだよ」と答えると、被災者。インタビューする側も被災者が大変な情況に覆われて生きるのは十分に知っているはずです。

イエスの埋葬は完全な沈黙を意味します。イエスの傍にいた人々はそれぞれの生活に戻ってきました。

大きな喪失感、虚無感に覆われていたことでしょう。このままではいけないと彼らは互いに励まし合ったことでしょう。互いに論じ合い、生きる道を見出します。しかし、彼らを

聖なる息吹によつて生きる ～聖靈降臨の出来事～

司祭 ダビデ 林 和 広

不測の出来事



津波で町全体が流された南三陸町

沈黙から生じる言葉

聖靈の働き

『あなたがたに平和があるよう。父がわたしをお遣わしなったように、わたしもあなたがたを遣わす』そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。『聖靈を受けなさい』

弟弟子達に聖なる息吹を注がれます。聖なる息吹を注いでくださいます。聖なる息吹を注がれている存在として生かされていることを受け取り、困難の中にあって、凛として生きていけるよう祈り求めたいものです。

聖靈降臨は、イエスの靈がこ

の世界に注がれたことを示します。時間と空間を超えて、風のように吹き渡り、私たちの内に宿り、燃え上がり、心の目を開いてくれます。聖靈降臨がなければ、イエスの言葉は単に遺された言葉として回想するだけです。そうではなく、イエスの言葉は今も生きており、今、生きている私たちに語りかけ、意味を与え上がつたのです。

他の誰の言葉でもない、神の言葉によって、弟子達の心は燃え上がつたのです。

——「初めに言があつた。言は神と共にあつた。言は神であつた」(ヨハネ1:1)――

神は常に語りかける方であり、その言葉には力があり、生きていている。これこそ聖書全体が示していることです。

東日本大震災に接し、何よりも大切なことは「祈り」です。わたしたちの祈りは、神の言葉である聖書を堅固な土台として発せられるのです。

悲劇の中にある時、私たちに近づき、心の目を開いてくれるのが聖靈の働きであるのです。自分は何も出来ない、自分は語るべき言葉を持てない、どうしていいかわからない、そのような時こそ、聖靈の支えを切に願い求めるのであります。

弟弟子達に聖なる息吹を注がれます。聖なる息吹を注がれている存在として生かされていることを受け取り、困難の中にあって、凛として生きていけるよう祈り求めたいものです。

2011年
6月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我秀一

印刷所
文明堂印刷所

京阪神聖公会 日立ボランティアセンターの発足

東日本大震災関連情報

**日立・いわき地域
東日本大震災京阪神3教区
救援協働プロジェクト**

【住所】
〒317-0077
日立市城南町1-6-1

【通信手段】

携帯電話

080-4249-5469

ファックス

0294-24-1697

メール

khsanglicanrelief@gmail.com

【目的】
京阪神3教区が一致協力して、
北関東教区日立聖アンデレ教会
域被災者への救援活動を実施す
る。併せて、東北教区小名浜聖
テモテ教会の主日礼拝に聖職を
派遣する。

1. 第1期プロジェクト
2011年4月19日(火)
～6月30日(木)

1. 神戸教区
①神戸教区
4月25日(月)～5月20日(金)
瀬山会治司祭を派遣。

2. 大阪教区
②大阪教区
5月20日(金)～6月10日(金)

3. 京都教区
③京都教区
6月10日(金)～6月30日(木)

4. 東京教区
④東京教区
4月19日(火)～午後2時
～4月20日(水)

5. 小名浜聖テモテ教会主日礼
拝奉仕は、第1、第3日曜日
を奉仕する。

6. 基地
【名称】
京阪神聖公会
京都教区
神戸教区
大阪教区
京都教区
芳我秀一司祭
藤原健久司祭

7. 基地担当者
中村 豊主教
本部調整者
中村 豊主教
現地調整者
斎藤秀樹司祭
(日立聖アンデレ教会牧師)
各教区担当者
原田光雄司祭
神戸教区
京都教区
大阪教区
京都教区
芳我秀一司祭
藤原健久司祭

8. 基地専用車
東京教区提供のワゴン車とも
う一台。

9. 基地開所式
4月19日(火)午後2時

10. 小名浜聖テモテ教会主日礼
拝奉仕は、第1、第3日曜日
を奉仕する。

ボランティアセンターの立ち上げ

4月24日(日)復活日
1. 坪井智執事が小名浜聖テモテ教会の復活日礼拝の奉仕。

4月25日(月)～4月30日(土)

1. 濑山会治司祭がボランティアセンター指導者として着任。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき・傾聴。支援物資仕分け会・幼稚園の整備・清掃。救援物資運搬。

3. 4日(水)～カトリック湯本教會と合同でいわき市立江名小学校避難所にて「おかし屋台」イベント。

4. 5月1日(日)～7日(土)

1. 宿泊者(最大時)20名。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、瓦礫処理。傾聴。

3. 5月8日(日)～14日(土)

1. 宿泊者(最大時)9名。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、傾聴。水戸と日立の教会会と合同でいわき市立江名小学校避難所にて「おかし屋台」イベント。

3. 5月10日(火)～14日(土)

1. ボーッパーカ避難所にて「おかし屋台」。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、傾聴。水戸と日立の教会会と合同でいわき市立江名小学校避難所にて「おかし屋台」イベント。

3. 5月11日(水)～14日(土)

1. 11日(水)14時46分、日立聖アンドレ教会にて。大震災2ヶ月のレクリエム

4. 5月15日(日)～21日(土)

1. 17日(火)～19日(木)、いわき市内の避難所にて「足湯ボランティア」。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、瓦礫処理。傾聴。

3. 5月15日(日)、瀬山会治司祭が小名浜の主日礼拝奉仕。

4. 5月17日(火)～19日(木)

1. 17日(火)～19日(木)、いわき市内の避難所にて「足湯ボランティア」。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、瓦礫処理。傾聴。

3. 5月17日(火)～19日(木)

1. 17日(火)～19日(木)、いわき市内の避難所にて「足湯ボランティア」。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、瓦礫処理。傾聴。

3. 5月19日(火)～21日(木)

1. 加藤博道主教、八戸功司祭(東北教区)が来訪。

4. 5月20日(火)～22日(木)

1. 大西修主教夫妻(大阪教区)が日立を来訪。小名浜聖テモテ教会の主日礼拝奉仕。

5. 5月21日(金)～23日(土)

1. 17日(火)～19日(木)、いわき市内の避難所にて「足湯ボランティア」。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、瓦礫処理。傾聴。

3. 5月21日(金)～23日(土)

1. 17日(火)～19日(木)、いわき市内の避難所にて「足湯ボランティア」。

週ごとのセンター活動

4月25日(月)～4月30日(土)

1. 宿泊者は、最大時で一日14名。出身教区は神戸、東京、京都、大阪、九州、北関東(通い)。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき・傾聴。支援物資仕分け会・幼稚園の整備・清掃。救援物資運搬。

3. 4日(水)～カトリック湯本教會と合同でいわき市立江名小学校避難所にて「おかし屋台」イベント。

4. 5月1日(日)～7日(土)

1. 宿泊者(最大時)20名。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、瓦礫処理。傾聴。

3. 4日(水)～カトリック湯本教會と合同でいわき市立江名小学校避難所にて「おかし屋台」イベント。

4. 5月8日(日)～14日(土)

1. 宿泊者(最大時)9名。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、傾聴。水戸と日立の教会会と合同でいわき市立江名小学校避難所にて「おかし屋台」イベント。

3. 5月10日(火)～14日(土)

1. ボーッパーカ避難所にて「おかし屋台」。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、傾聴。水戸と日立の教会会と合同でいわき市立江名小学校避難所にて「おかし屋台」イベント。

3. 5月11日(水)～14日(土)

1. 11日(水)14時46分、日立聖アンドレ教会にて。大震災2ヶ月のレクリエム

4. 5月15日(日)～21日(土)

1. 17日(火)～19日(木)、いわき市内の避難所にて「足湯ボランティア」。

2. 活動内容: 小名浜での泥かき、瓦礫処理。傾聴。

3. 5月15日(日)～21日(土)

1. 17日(火)～19日(木)、いわき市内の避難所にて「足湯ボランティア」。

京阪神聖公会 日立ボランティアセンターの働き

ボランティアセンター指導者

司祭 バルナバ 濑山 会治



いわき市の災害ボランティアセンターに登録して行う瓦礫清掃

4月19日（火）に日立ボランティアセンターは立ち上げられました。ボランティアセンターの機能として求められていることは、ボランティアの宿泊と食事、作業の提供です。

施設面では、北関東教区の日立聖アンデレ教会の牧師館をお借りできましたし、生活面でも、中村由香里姉を中心斎藤英樹司祭様や教会・幼稚園の方々に支えていただきましたので、不自由さを感じることは何もありませんでした。

聖公会では、もちろん東北教区と北関東教区の教会と幼稚園の方々が必要とされている働きです。建物の修理や整理、園児たちの心を楽しませるイベントなどを行いました。

次にカトリック湯本教会との協働活動で、炊き出しに参加させていただきました。

三度目は、日立の二葉幼稚園でストレスを受けた子どもたちへの娛樂として行いました。傾聴ボランティア活動としても「おかし屋台」と「足湯」を行いました。

聖公会では、もちろん東北教区の教会と幼稚園の方々が必要とされている働きです。建物の修理や整理、園児たちの心を楽しませるイベントなどを行いました。

最後は、いわき市の社会福祉協議会傘下の災害ボランティアセンターに登録して行う、瓦礫清掃と傾聴ボランティア活動でした。この災害ボランティアセンターでは、主に瓦礫撤去などを行う一般ボランティアの管理をしていましたので、傾聴ボランティアは、自由に活動することができます。

第二回目の「おかし屋台」は単独で行い、大福の代わりに神戸・北関東教区の方々のお力を借りて手作りケーキやクッキー

炊き出しといつても食事では重複してしまうので、「おかし屋台」と銘打ってポップコーンと棉菓子、イチゴ大福などをお配りしました。

日立ボランティアセンターは、



いわき市南の森スポーツパークで行った被災者支援イベントの「おかし屋台」

東北教区に ボランティアに行つて

ミカエル 杉野 達也

3月27日（日）から4月7日（木）まで東北教区にボランティアに行かせて頂きました。

東北教区に ボランティアに行つて

(米子聖ニコラス教会牧師
松江基督教会・広瀬基督教会・境復活教会管理牧師)

ボランティアの活動を支えるためにあるのですが、その働きそのものも直接・間接的にたくさんの方々によって支えられており、それらの方々が同じく被災された方々のために、また神さまの栄光を表す器として用いられています。それを実感し、感謝しております。

被災した地域の復興には長期的な時間が必要とされます。今回ボランティアを経験し、私ができることは本当に微力であると感じました。しかし、また機会があれば被災地に赴き、現地で私にできることをしたいと心から感じています。

（ヴィリアムズ神学院在学生）

東日本大震災ボランティアを募集しています

神戸・大阪・京都の3教区が協働し、北関東教区日立聖アンデレ教会を基地として、東日本大震災被災地での支援活動を行っております。ボランティアを志望される方は、神戸教区内各教会に配信しております、「ボランティア受付票」にご記入の上、郵送、ファックス、メールにて下記にお申し込み下さい。（お問い合わせも下記に）

司祭 芳我秀一（神戸教区東日本大震災対策室長）

住所：〒671-1152 姫路市広畠区小松町4-36

姫路顯榮教会／電話・ファックス：0792-36-6506

Mail : haga-michael@hotmail.co.jp

が神戸にボランティアとしてきて、支援して頂いたということははっきりと覚えています。

東北教区からも、多くの方々が16年前に関西にボランティアに来て頂いたことを知りました。

被災した地域の復興には長期的な時間が必要とされます。今回ボランティアを経験し、私ができることは本当に微力であると感じました。しかし、また機会があれば被災地に赴き、現地で私にできることをしたいと心から感じています。

（ヴィリアムズ神学院在学生）

私も自身は、16年前に阪神淡路大震災を経験しました。当時は小学校2年生で、神戸の街の被害状況はあまり詳しくは覚えていませんが、その当時多くの方々

くしてしまいました。

私は、16年前に阪神淡路大震災を経験しました。当時は

陸前高田では、車で何キロ走っても景色は変わらず、どこまで行つても瓦礫の山でした。ボランティアに行く前にテレビの画面を通して見ていましたが、実際に現地に行ってみると、被害の大きさに言葉を失い、立ち尽

あぶつ、ばぶつ、だいじょうぶつ!

♪第49回教区婦人会大会・ 晴佐久昌英神父講演会報告♪

司祭 マルコ 藤井 尚人

4月29日(金)～30日(土)、祭)を講師にお招きし、高知を3年毎に開催されている教区婦人大会が、「神さまへの奉仕」をテーマに、今回、カリスマ神父(多摩カトリック教会主任司

父)として名高い晴佐久昌英神父の説教集を朗読していたことから「直接、私たちを励まして欲しい」と、同神父の元に足を運ばれ、多分、現在、日本のキリスト教界で最もスケジュールの調整が難しいであろう同神父の招聘を実現されました。

いきなり「僕の話はすごいですよ(笑)」と始められた講演は、まさに福音宣言の連続。「僕の座右の銘は、『自分のことは棚に上げて』です。だって、イエスが働くとはそういうことだから。高円寺教会の6年で541名の受洗者は本当に嬉しいこ



会場に開催されました。参加者は約120名。

本部の高知聖パウロ教会婦人会は、司祭不在の主日に、同神父の説教集を朗読していたことから「直接、私たちを励まして欲しい」と、同神父の元に足を運ばれ、多分、現在、日本のキリスト教界で最もスケジュールの調整が難しいであろう同神父の招聘を実現されました。

いきなり「僕の話はすごいですよ(笑)」と始められた講演は、まさに福音宣言の連続。

「僕の座右の銘は、『自分のことは棚に上げて』です。だって、イエスが働くとはそういうことだから。高円寺教会の6年で541名の受洗者は本当に嬉しいこ

講師の晴佐久昌英神父



も一日のようだ、って詩編にあ

るじゃないですか」と神さまの業への絶対信頼を宣言された後、ます。その教会の信者の数は、その教会が語った福音の数に正

比例する。今この教会に信徒が減ったのは、単純に福音を語る数が減ったから。宣教師たちはそれは物凄い勢いで福音を語ったのです。想像して下さい。もし、今日から、キリスト者が、誰一人として福音を語らなかったら、100年後、世界中の全ての教会は消滅するのです。みなさんが働くと信じてあなたの目の前の人に関する事。ただただ、目の前の人と信頼関係を作るこ

と。だって、それはイエスのみ業だから。大切なことは、イエスが働くと信じてあなたの目の前の人に関する事。ただただ、目の前の人と信頼関係を作るこ

と。そして、「絵本はなかなか売れないからね」と、昨年クリスマスに出版された絵本「あぶう、ばぶう」を自ら読み聞かせて下さり、「だいじょうぶう!」これがキリスト教のすべて。皆さん、イエスの心が宿っているキリスト者として、福音を語りましょう」と、参加者一同を励ました。

高知聖パウロ教会に場所を移した翌日は、中村主教司式による聖餐式の後、「黙って聞いての謝辞を以って、教区婦人大会長の「誰もしてくれない、と

いう不満ばかりのくれない族にはならないでいましょうね」という閉会の挨拶、高知聖パウロ教会の眞野婦人会長の土佐弁での謝辞を以って、教区婦人大会は閉会をしました。

「たぶん、今の教会の最大の問題は、福音を説明してばかり

で、宣言していないことです。メ

ニューの能書きはもういいから、早くおいしい食事を出してくれ、ということ。みなさん、イエスさまの口として福音を語りましょう。聖公会神戸教区が福音を宣言する教区となりますよう…」という晴佐久神父の言葉をそれの心に刻みつつ…。

キリストの平和。

婦人会代表者会報告

5月26日(木)、神戸聖ミカエル大聖堂にて神戸教区婦人会代表者会が開かれました。

教区内各教会の婦人会代表者1名と、傍聴者1名が集い、教区婦人会決算・予算などの議案審議を行い、すべて可決されました。

次期教区婦人会事務局代表(会長)選挙が行われ、徳島イシマヌエル教会の下瀬千穂子さんが選出されました。

また2014年の婦人会大会開催地については、米子聖ニコラス教会が申し出て下さいました。

なお、婦人会大会及び婦人会代表者会での信施金は、北関東教区日立聖アンデレ教会と東北教区小名浜聖テモテ教会の婦人に献げることが決まりました。

(教区婦人会事務局代表
覚前 康子)

神戸教区第48回中高生大会のご案内

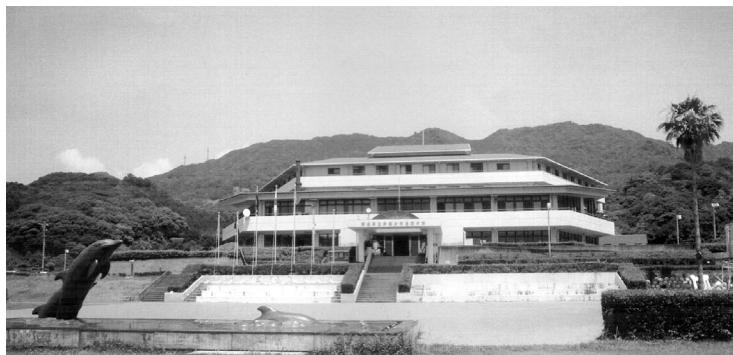


大会長

ヨハネ 濑山 匠
(徳島インマヌエル教会)

りますが、その分自分達のできることを、全力を尽くしてこの大会を盛り上げたいと思います。

今回の会場の徳島県立牟岐少年自然の家は、目の前にきれいな海があり、運が良ければ、海がめが産卵に来るかもしれません。自然が豊かな場所です。大勢の参加者とのつながりを持てるように、ぜひみなさん参加してください。



神戸教区 第48回中高生大会 in 徳島

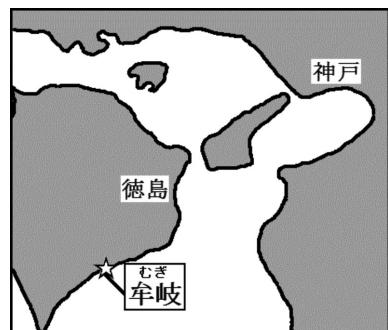
テーマ：「つながり」

日 時：2011年8月16日(火)～19日(金)

会 場：徳島県立 牟岐少年自然の家

〒775-0005 徳島県海部郡牟岐町大字灘字東谷116-35
<http://www.mugi-nature.com>

TKS48



* 申し込みは、各教会で牧師・管理牧師にしてください。
しめきりは、7月26日(火)必着です。



写真中央が入学した浪花朋久教区神学生

ウイリアムズ神学館入学式

聖職候補生養成委員長
司祭 ヨハネ 芳我 秀一

4月13日（水）午前11時より、聖アグネス京都教区主教座聖堂にて、2011年度ウイリアムズ神学館入学式が行われ、当教区から、セバスチャン浪花朋久教区神学生が入学しました。

今年度、ウイリアムズ神学館には浪花兄を含めて5名の新入生が与えられ、当教区からは、2年生に在学中のミカエル杉野

なお、浪花、杉野両神学生は、入学式・始業式前の3月27日より10日間、東日本大震災被災地にて支援活動をして来ました。被災地の大変な惨状を目当たりにし、多くの悲しみや苦しみ、試練のうちある人々との出会いを通して、ながら、聖職を志すにあたって、さらに思うところがあつたのではと思ひます。

ウイリアムズ神学館入学のセバスチャン浪花朋久教区神学生の上に、また在学中のミカエル杉野達也教区神学生の上に、主の恵みと祝福をお祈りします。

6月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2011年6月2日(木)午前10:30
 場所 神戸聖ミカエル大聖堂
 司式 主教 中村 豊
 説教 司祭 中村 豊

* 6月の記念逝去教役者*

8日	司 祭	チャールズ F ワレン
13日	司 祭	ダニエル 植村 信久
13日	司 祭	ヘンリー ピート
13日	伝道師	マリア 鈴木 嶋峨
19日	伝道師	ヨハネ 伊木久次郎
19日	司 祭	ダビデ 横田 豊
20日	司 祭	トマス 角瀬 史和
20日	司 祭	牧岡 鉄弥
20日	主 教	テトス 中道 淑夫
22日	司 祭	施洗者ヨハネ 佐々木 崇
23日	司 祭	マタイ 覚前 信三
29日	主 教	横田 道信

ガラブリエラ	4月24日(日)	テレサ(日)	4月10日(日)	祝堅信	マーガレット	4月24日(日)	ラフアエラ	ガラブリエラ
神戸聖ミカエル教会	三宅由華加	奥田富賀華加	三宅由華加	神戸聖ミカエル教会	高知聖パウロ教会	神戸昇天教会	三宅由華加	神戸昇天教会
三宅由華加	増山恵子	蘿鉄樹絵	増山恵子	マーガレット	グラントはな	マーガレット	グラントはな	マーガレット
広島復活教会	広島復活教会	神戸昇天教会	神戸昇天教会	高知聖パウロ教会	高知聖パウロ教会	高知聖パウロ教会	高知聖パウロ教会	高知聖パウロ教会
チャーチ	チャーチ	チャーチ	チャーチ	チャーチ	チャーチ	チャーチ	チャーチ	チャーチ

鳩だより

《敬称略》

司祭トマス入交源治(85歳)
徳島インマヌエル教会

ご逝去

広島伝道区

* 4月10日(日)主教巡錫日、
小林尚明司祭の広島聖公会字
園・栄光幼稚園園長就任祝福
式が行われた。礼拝後、本年
1月に第39回医療功労賞を受
賞されたルカ速水環医師のミ
ホームレスの人たちへの炊き
出しを行われた。約40名の方々
が来られた。

先日教区から配布しました「耐震
改修工事費事献金の感謝」で
倉敷聖ステパノ教会(伝道所)は
お詫びして訂正します。
教区事務所

広島平和礼拝2011のご案内

神戸教区 各教会のみなさま

2011年5月

「広島平和礼拝2011」実行委員長
司祭 オーガスティン 小林 尚明

主の平和!

広島に原子爆弾が投下され、66年目を迎える8月、今年も広島平和礼拝を実施いたします。

神戸教区が主催する平和礼拝は今年で7年目になりますが、ここ2、3年は日本の次代を担う若い人たちに参加を呼びかけてきました。関係各位のご協力により、昨年度は、聖公会関係学校の中高生、大学生、約60名が礼拝に参加し、分かち合いの時間には、生活環境や立場が全く異なる老若男女が同じグループで原爆について語り合いました。10代の若者と、中高年の間に横たわる、戦争や原爆への思いや認識には相当の隔たりがありましたが、戦争体験者は、世代間の隔たりを超えて、共通理解を得るように努力することが、原爆を次世代に伝えるために必要となります。

原爆投下から66年の月日が経ち、事実の風化が危惧されます。次世代に原爆の悲惨さを伝え、これを通して平和についての認識を深めることが急務となっております。特に若い世代の人たちの参加を切に望み、皆さまにご案内申し上げます。

■目的

1. 原爆犠牲者を追悼し、世界平和のために祈る。
 2. 時代を担う人たちに原爆の悲惨さ、戦争の愚かさを伝える。
 3. 「主の平和」を学び、その実現のために活動する。
- おねがい: 広島原爆の犠牲になった聖公会の信徒、関係者のお名前、
わかれは人となりなど、復活教会まで、お知らせ下さい。
原爆投下の6日朝8時15分に合わせた原爆犠牲者追悼聖餐
式で、お名前を読み上げてお祈りいたします。

■行事名

広島平和礼拝2011

■テーマ

ともに学び、行動し、祈ろう。そして一步前へ。

■聖句

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子ども呼ばれる。(マタイ福音書5:9)

■開催日

2011年8月5日(金)・6日(土)

■申込締切

2011年7月12日(火)

宿泊などの手配等ございます。所定の申込用紙にご記入の上、ファックスにて上記期日までに広島復活教会必着でお願いします。

■プログラム

5日(金)	碑巡り(入門編、中級編、大聖堂編の3コース)
9:30	碑巡り(入門編、中級編、大聖堂編の3コース)
12:00	昼食
13:00	被爆証言 アイレネ佐伯啓子さん
14:00	ブレーク
14:20	分かち合い
15:20	歌の練習
15:50	軽食 以上、すべて〈広島復活教会〉
16:10	平和公園に向けて出発
17:00	歌の練習 〈平和公園〉
17:15	祈りのつどい 〈同上〉
17:50	平和行進
19:00	平和祈願ミサ 〈世界平和記念聖堂〉
6日(土)	原爆死没者慰靈行事 〈平和公園～世界平和記念聖堂〉
6:15	原爆犠牲者追悼聖餐式 〈復活教会〉
8:00	原爆犠牲者追悼聖餐式 〈復活教会〉

※お問い合わせ・お申込みは、広島平和礼拝実行委員会事務局まで

(日本聖公会広島復活教会 〒730-0014 広島市中区上幟町10-11) TEL: 082-227-1553 FAX: 082-227-0818
E-Mail: kobayashi@hpps.web9.jp 「広島礼拝ホームページ」 <http://hpps.web9.jp/>